

第115回

火山噴火予知連絡会資料

2010年2月2日

東北大学大学院理学研究科

2001年ころから継続している傾斜・歪変動傾向が、今期も続いている。

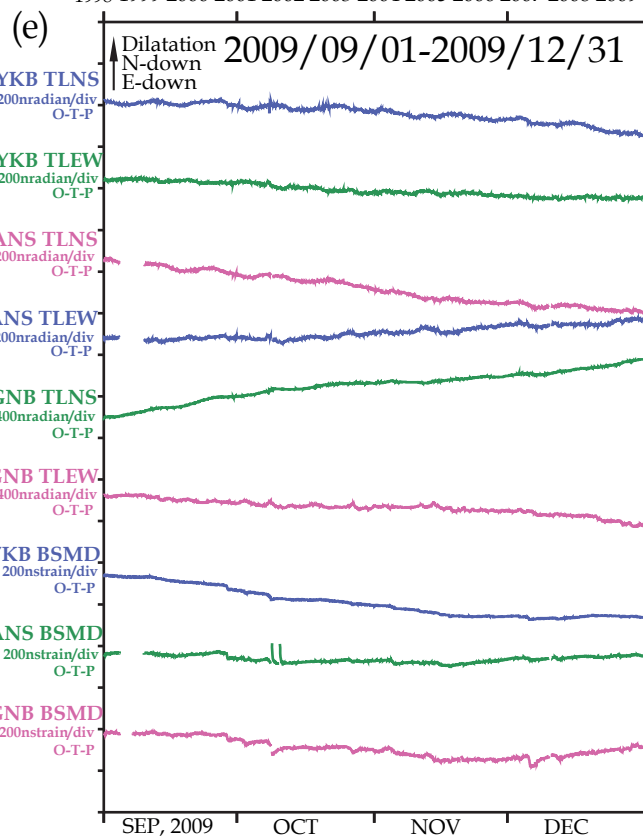
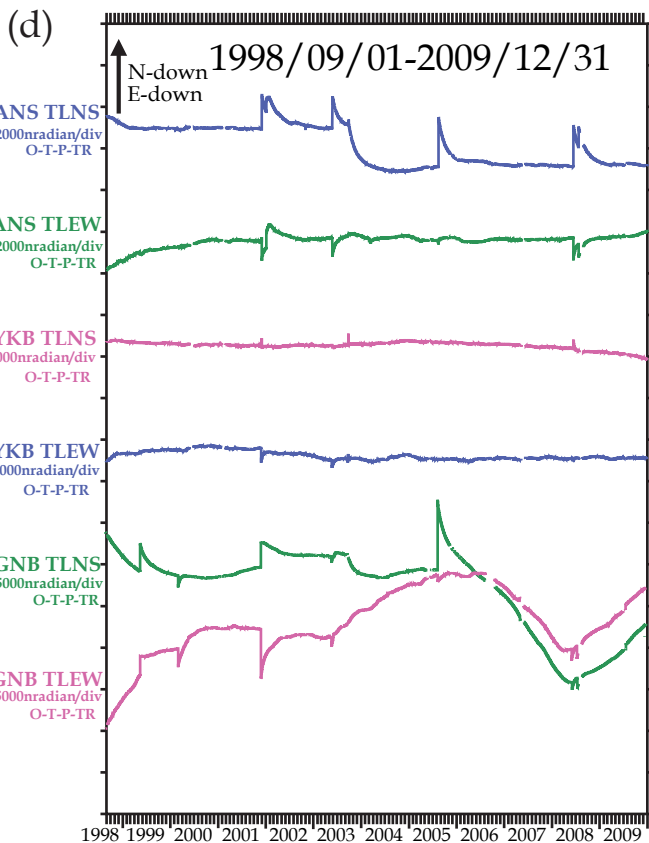
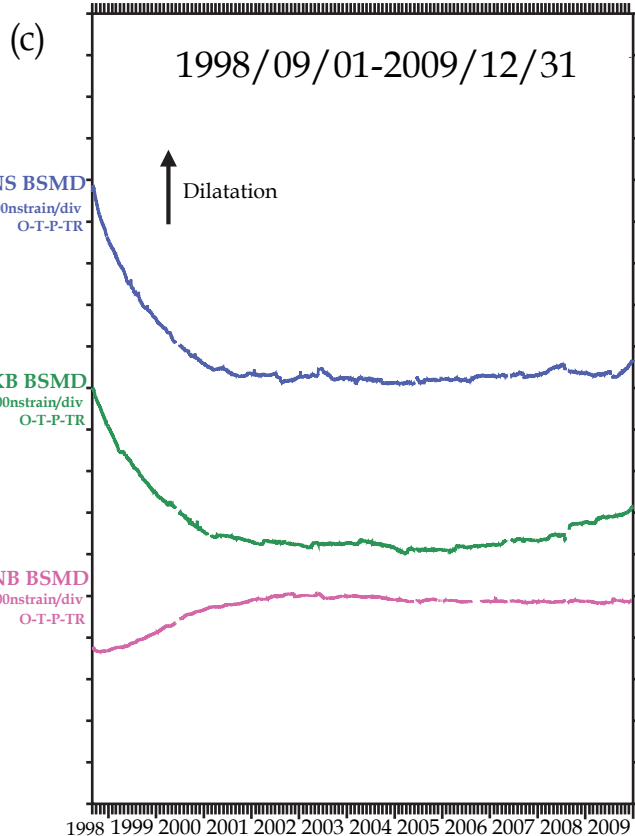
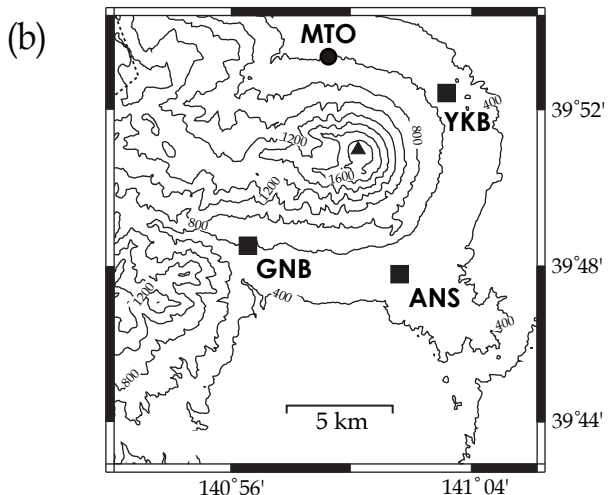
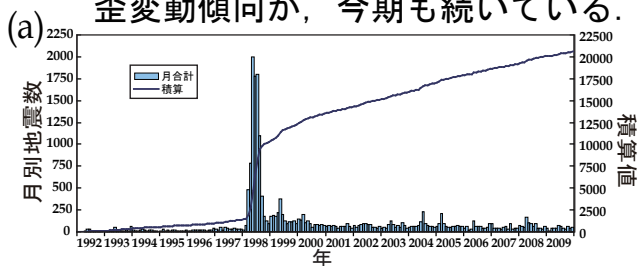


図 1. 岩手山周辺における歪・傾斜変動連続記録. (a) 月別地震数の変化(1992年4月~2009年12月), (b) 観測点配置, (c) 1998年9月1日~2009年12月31日における歪変動, (d) 傾斜変動, (e) 2009年9月1日~2009年12月31日の歪・傾斜変動. BSMD:体積歪, TLNS:傾斜南北成分, TLEW:傾斜東西成分. (c), (d)は潮汐・気圧・トレンド補正済. (e)は潮汐・気圧のみ補正済. トビをともなう変動は有感地震の影響あるいは雨の影響. 2001年頃以降, 火山活動に関連した変動は認められないと考えられる.

地形図の作成には国土地理院発行の数値地図を使用した.

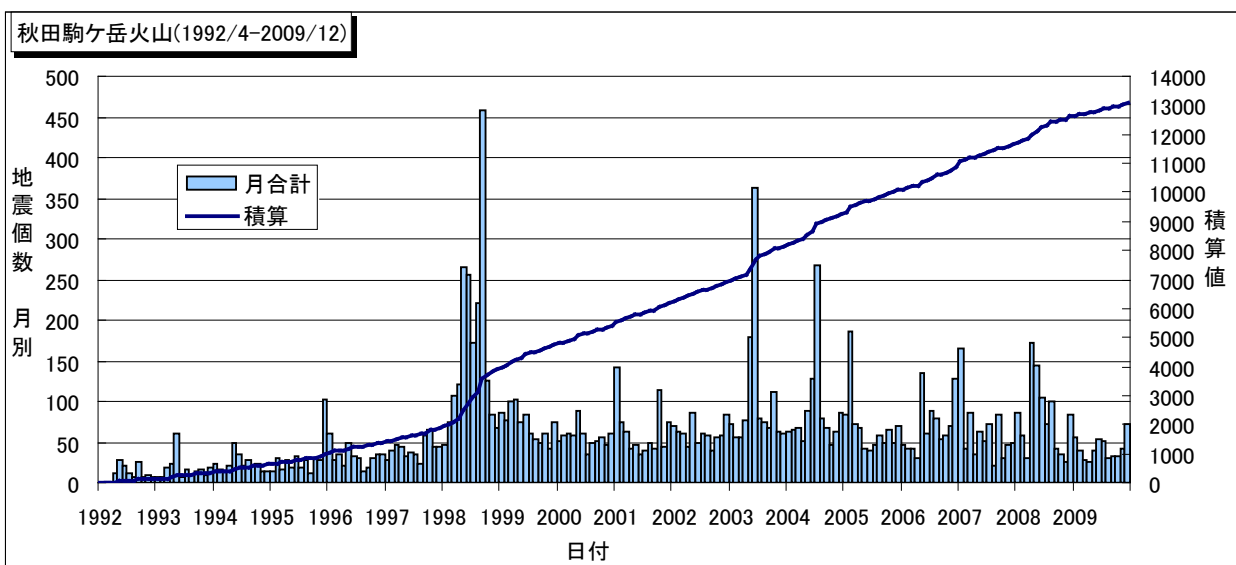
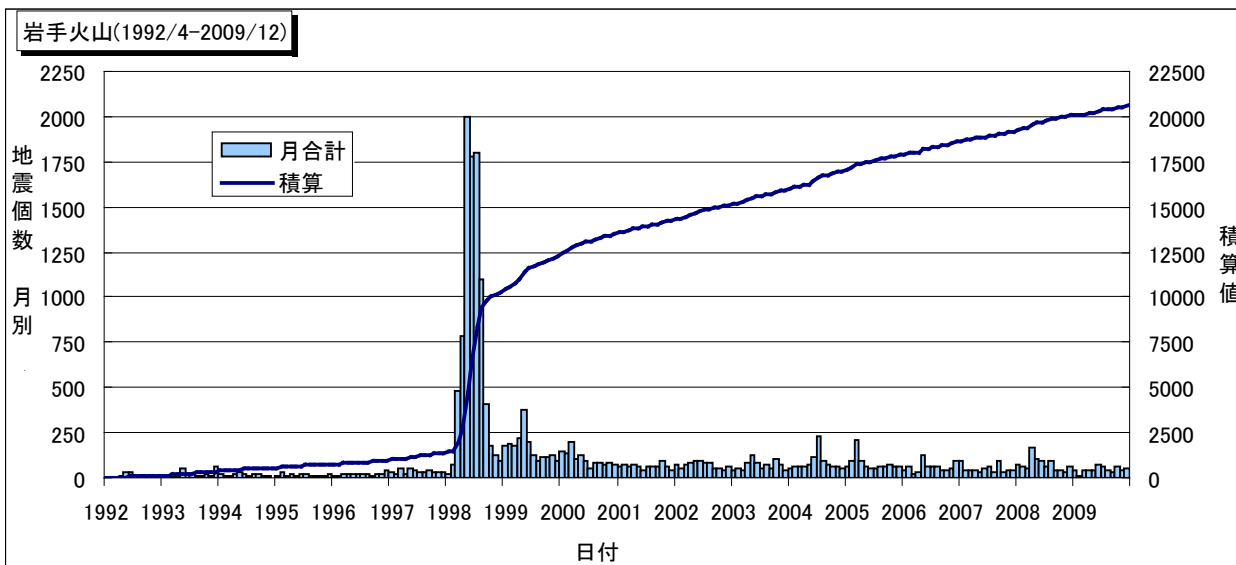
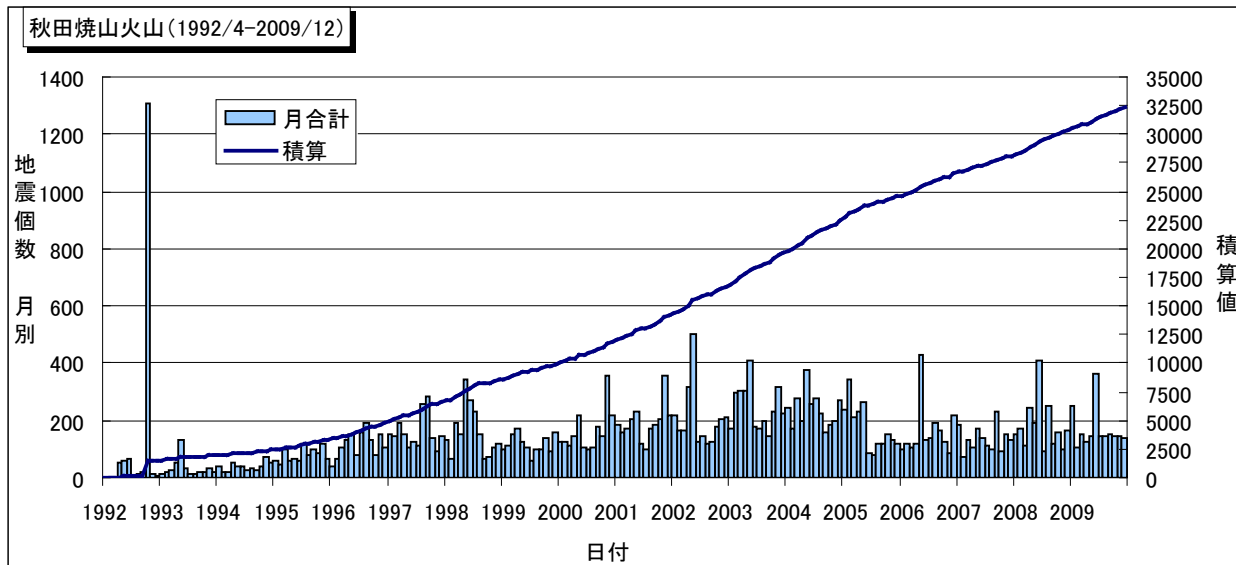


図1. 秋田焼山火山, 岩手火山, 秋田駒ヶ岳火山の各火山ならびに周辺地域で発生した地震の月別頻度と積算個数の時間変化. 各火山における観測期間を火山名の横に示す.

秋田焼山, 岩手山, 秋田駒ヶ岳

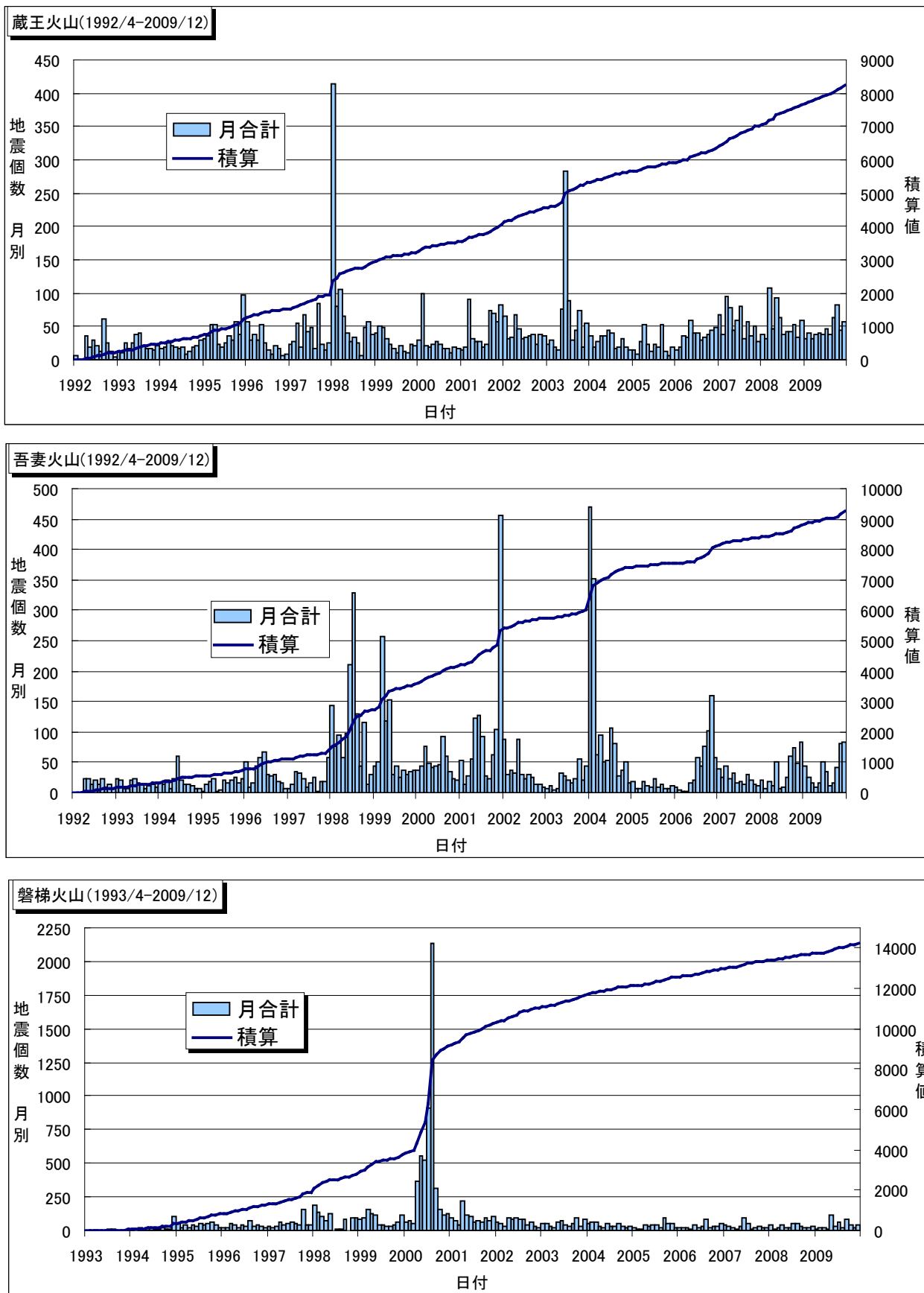


図2. 蔵王火山，吾妻火山，磐梯火山の各火山ならびに周辺地域で発生した地震の月別頻度と積算個数の時間変化. 各火山における観測期間を観測点名の横に示す.

蔵王山, 吾妻山, 磐梯山